

令和6年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	地域六事産業化推進事業
事業主体 (連絡先)	(一社) 地域づくり美麻 (Tel 080-8048-5667 mail 1syamiasa@gmail.com)
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大 (イ 農業の振興と農山村づくり)
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,896,528 円 (うち支援金: 1,485,000 円)

事業内容

令和2年度に住民中心で作成した「美麻地区振興計画」に掲げる地域課題(重点6つ)の解決に向けた取り組みを行います。(※重点テーマ 女性若者に選ばれる県づくり)

- (1)若者交流人口獲得プログラムの実施(古民家1棟のリビルディング)
- (2)交流人口獲得イベント(外国人移住者と連携した交流人口獲得イベント9回)
- (3)有害鳥獣対策事業の安定運営を確保事業(商品企画コンテストの開催1回)
- (4)有害鳥獣対策と荒廃農地活用に向けた里山ドッグランの設置(2か所)

事業効果

- (1) 古民家のリビルディング作業を通じ、全国からの交流人口を獲得できた。(7月、11月 計6名)。
- (2) 毎月1回開催した道の駅活性化を目的としたイベント情報などを定期的に外国語で情報発信することや、交流人口獲得に向けたパンフレットを作成し、1外国人世帯の移住につながった。
- (3) 商品企画コンテストの開催により鹿革の活用をPRすることができた。企画は、美麻小中学校7年生と連携して実施できたことから、地域の人材育成にもつながっている。
- (4) 解体した古民家の部材や地域材を活用してドッグラン2か所を整備することができた。

今後の取り組み

- (1) 解体作業が全体の2/3に達し事業は計画的に進捗しており、今後解体後の活用について準備を進める。
 - (2) 今後は情報発信やパンフレットの多言語化を図り、地域情報の発信を強化していく。
 - (3) 鹿革製品は、体験ワークショップ商品としての開発を進める。中学生は7年度も継続して商品開発に取り組む意向を示しており、地域をあげて地場産業化への取組みを展開したい。
 - (4) 今後は設置地域と連携した運用ルールの方針を進め、設置場所の拡大を図りたい。
- 各事業での参加費の設定や商品販売等を通じて自主財源の確保を図る。



【鹿革デザインコンテスト】

【目標・ねらい】

- ①移住者・交流人口の獲得
- ②地域の賑わいと活力創出
- ③特産品開発を通じた地域活性化

※自己評価【B】

【理由】提案した4つの事業について計画どおりの実施できた。特に交流人口の獲得では、外国人向け情報発信がアメリカからの移住者受入れにつながった。事業を通じて確認された課題について、自立運営に向けて改善を図っていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある